

心の輪33R



『ジョイス』という資料を通して、
「誠実な生き方」について考えました！



ジョイスは、ガララーガの完全試合を壊してしまったことを一生忘れないと思う。でも、失敗をしたからこの人は悪者というわけでもないと思う。失敗をして、それを繰り返さないように生活していくことが大切だと思う。私だったら、次の日、仕事は無理だと思う。なのに、行ったジョイスはメンタルが強いと思った。

ジョイスの生き方は、己を全うして、自分の過ちに気づき、すぐに謝罪をすることができて、すごいと思う。やったことは「世紀の誤審」で消えないかもしれないけれど、言ったこと一つで偉業が壊されたりする仕事をやることにおいて、責任重大だということが分かった。心を入れ替えて頑張るということが大切だと思った。

失敗したことを、ちゃんと認め、その謝罪が本人にでき、次の試合にも球審として出ることがすごいなあと思った。人として、嫌なことから逃げない姿を見習いたいなあと思う。

僕は、ジョイスのように自分の生き方に誇りを持てるようになりたいです。人生の中にはミスをしてしまったこと、悲しかったことなどのマイナスのことがいっぱいあります。だけど、それを含めて人生なので、僕は楽しい生活をして、それを誇りたいと思います。

自分の失敗から逃げず、もう誤審を繰り返さないよう、また仕事に全うするジョイスだからこそ、「No.1 審判員」になったんだろうなと思った。失敗してもまた立ち向かうという気持ちは大切だと改めて思いました。

誰でも失敗することはあると思います。でも、失敗を恥ずかしくて逃げずにはなく、きちんと認めて謝り、次につなげることが大切だと思います。あと、わざとではない失敗を、第三者が必要以上に責め立てる方が、失敗するより恥ずかしいことだと思います。



自分は失敗したりしたら、よく人のせいなどにしていたけど、今回のジョイスのように、自分が胸を張って生きていけるようになっていきたい。また、過ちを犯したとしても、ヘラヘラしないでおこうと思った。

ジョイスは、自分のしたミスを捨てずに、ちゃんとガララーガに謝ったことは、誰が見ても素晴らしいことだと私は思う。次の日の試合に出たのも、ものすごい勇気が必要だったと思うが、すごいと思う。彼の生き方を真似していきたいと思う。

一度の失敗ですぐ崩れるのではなく、これから生きていく上で、大切な材料だと思うことが大切だと思う。私がジョイスの立場だったら、翌日の試合には、メディアなどの目が怖くて参加していなかったと思う。

ジョイスもガララーガも、どちらもすごいと思った。仕事や周りからの批判から逃げないジョイスはすごいと思うし、それを認めたガララーガは心が広いと思った。

どんなにひどい間違いをしてしまっても、自分のためにも相手のためにも認めることが大切だということが分かった。自分の責務をどんな時も全うしたジョイスはすごいと思う。